

スクールカウンセラー便り 6-6号

斐川東中学校 R6. 10
スクールカウンセラー 小林りょうすけ

ごあいさつ

みなさん、こんにちは。スクールカウンセラーの小林です。ようやく秋の雰囲気ですが、いかがお過ごしでしょうか。小林はといえば、さすがにそろそろと思い、ようやく髪を切りました！

さてさて、朝晩涼しくなってきました。「健康第一・ガッツ第二」でいきましょ～！！



10月に髪を切ったら
ポイント2倍でした

10月と11月上旬の来校予定日

10月 9日（水）午前
10月16日（水）午前
10月22日（火）午前
10月23日（水）午前
10月30日（水）午後 11月6日（水）午前



相談の受け付け

生徒のみなさん、保護者の皆さま。気になること、心配なことなんでも結構ですので、遠慮なくお話に来てください。申し込みは担任の先生か日下先生か岡本先生までお願いいたします。

スクールカウンセラー小林のひとりごと

「容疑者 Z」 2 / 5

「あなたの得意なことは何ですか？」という質問を苦手にした容疑者 Z について。

私たちの多くは、得意不得意を他人のそれと比べる。
人よりできれば得意と、できなければ不得意と、判断する。
ここで問題となるのが、比べる相手だ。
比べる相手を、比べる内容によって、変えてしまう。
比べる相手に、それが得意な人をわざわざ選んでしまう、という人が多い。



つまり、勉強については勉強が得意な A さんと自分を比べ、
運動については運動が得意な B さんと自分を比べ、
コミュニケーションについては話し上手の C さんと自分を比べてしまう。
そんなことをしてしまえば当然、自分の得意なことはひとつもないことになってしまう。
仮に勉強については、B さんや C さんより得意だったとしても、
A さんの方がすごいからという理由で、「得意なことじゃない」となってしまう。

しかし、これは明らかにアンフェアで、あまりにも自分がかawaiiそうすぎる。
こんなことがまかり通れば、誰も「得意なこと」はないことになる。

「比べる相手を、その都度変えていく」これが一人目の容疑者 Z だ。

(つづく・・・)